

入院されている方へ

つながりをもてるような、かみなしに
あなたとつながり、かみなしに

話を聞いてもらいたいけど、
何を話せばいいのかな...



面会に来てくれる人もいないし、
この先どうしよう...



大事なことも
ささいなことも
一緒におしゃべり
してみませんか？



Studio100

和歌山県で

入院者訪問支援事業が

はじまりました！

入院中、不安なことはありませんか？

こんなこと話してもいいのかな？

と迷うことはありませんか？

♡ あなたの想いを受けとめます。

♡ あなたの気持ちに
寄り添います。

♡ これからのことを一緒に
考えていきましょう

和歌山県の
訪問チームは
「まりねこWA!かやま」です！
お気軽にお声かけ下さいね！



※イメージキャラクターまりねこちゃん

相談は無料です。

毎週月曜日 13:00~16:00

070-6665-8731

※通話料がかかります。

和歌山県で入院者訪問支援事業 がはじまりました。



入院者訪問支援事業とは？

ご本人さんの希望があれば、訪問支援員が病院に出向き、ご本人さんの体験や気持ちをていねいに聴かせて頂き必要な情報提供を行います。



訪問支援員とは？

- ・資格などの制限はありませんが、必要な研修を受け、都道府県等の任命を受けた者になります。
- ・精神科病院を訪問します。
- ・入院中の方の立場に立って生活に関することや体験したこと、気持ちをていねいに聴かせていただきます。
- ・必要な情報提供を行います。
- ・秘密は守ります。

さまざまな立場からの支援の必要性

フォーマルアドボカシー

- 担い手：専門職
(医療者、福祉職員、行政職員)
- ・適切な療養環境の提供
 - ・情報提供
 - ・本人中心の医療、ケアの提供など

ピアアドボカシー

- 担い手：ご本人と同じような立場・属性の人
- ・深い共感
 - ・経験値の共有など

セルフアドボカシー

インフォーマルアドボカシー

- 担い手：家族・友人など
- ・ご本人への寄り添い
 - ・ご本人と一緒に専門職の話を聞く
 - ・ご本人の代理人的役割

独立アドボカシー

- 担い手：入院者訪問支援員など
(利害関係のない第三者)
- ・ご本人の立場に立つ
 - ・ご本人のエンパワメント
(直接支援は行いません)

※アドボカシーとは、「擁護」「支持」という意味があります。



みなさまのご理解
ご協力が必要不可欠
です！
わたしたちとともに
取り組んでいきま
しょう！

